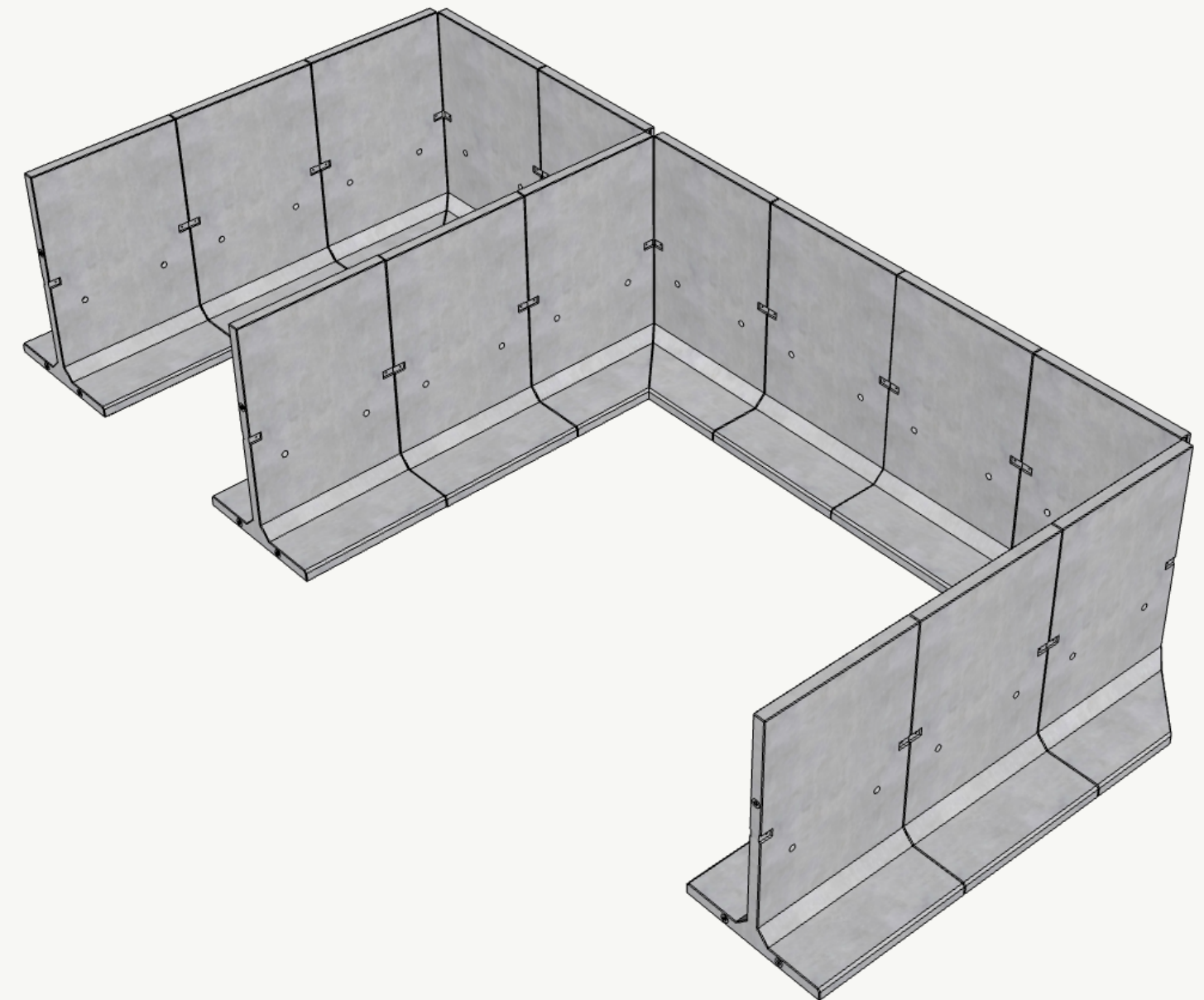




本社 / 経理部 〒289-1527 千葉県山武市松尾町大堤 318
TEL 0479-86-3221 FAX 0479-86-3222

工場 / 営業部 〒289-1537 千葉県山武市松尾町借毛本郷 715
TEL 0479-86-3741 FAX 0479-86-5500

千葉営業所 〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央 4-10-16 CI-22 ビル
TEL 043-215-7310 FAX 043-215-7311

お問い合わせ
TEL 043-215-7310

メールアドレス
chiba@hana-ken.co.jp

ホームページ
<http://hana-ken.co.jp/>



Stockyard Block ストックヤードブロック

製品カタログ

国土交通省 新技術情報提供システム (NETIS)

NETIS No.CG-120022-A (掲載期間終了)

2026年10月版 ヤード条例・集水計画対応



基本構造

標準規格

特徴

ストックヤードブロックの基本構造

連結部

製品の連結に使用される専用の連結プレートにより、逆Tブロックとコーナブロックを強固に接続します。製品設置割付により必要な数量を製品納入時に同梱致します。

コーナブロック

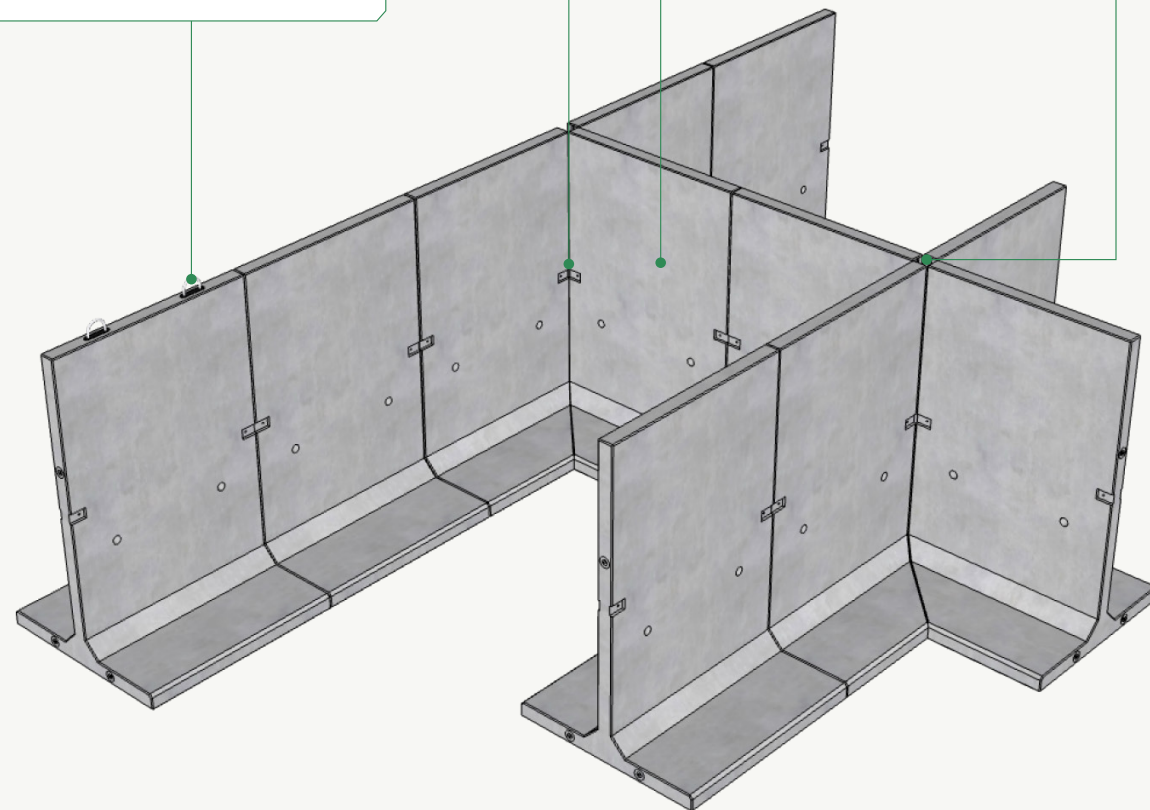
90°コーナー、およびフリーコーナー用に使用可能です。

製品天端吊り金具

製品天端に2カ所フックを取り付けるオプション対応も可能です。これによりH2500までの製品はフォークリフトでの移動が可能です。

T字および十字仕切り

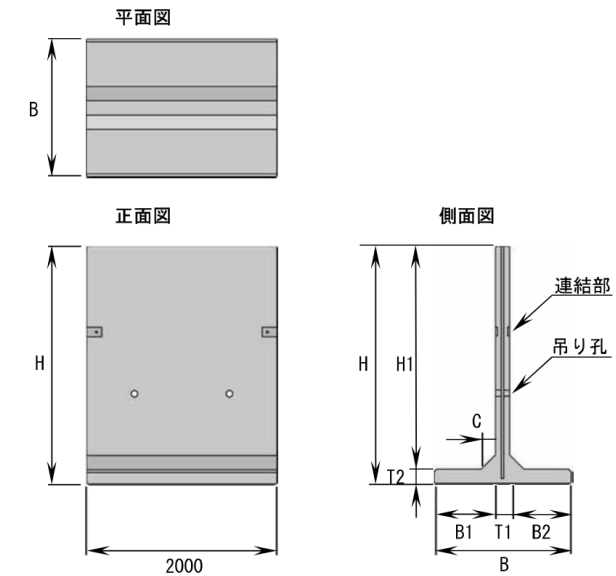
コーナブロック同士を組み合わせてT字の仕切りや、十字の仕切りに設置・再設置が可能です。



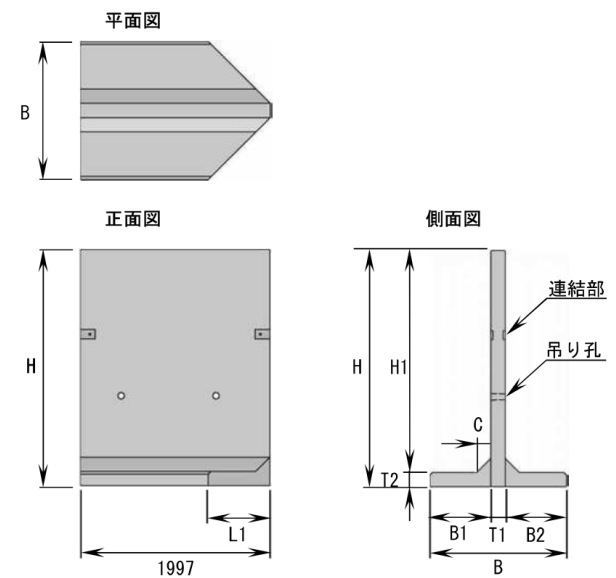
特徴的なコーナブロックにより、90°コーナーはもちろんフリーコーナーとして使用することができるため従来のブロックでは困難な割付も可能です。(図は、2種類のブロックのみで構築されています)
据付後の移動が可能なので、再割付けも無駄なく行えます。

ストックヤードブロックの標準規格

逆Tブロック



コーナブロック



寸法 (mm)									逆T (kg)	コーナー (kg)
H	B	H1	B1	B2	T1	T2	C	L1		
2000	1150	1850	500	500	150	150	150	500	2350	2190
2500	1450	2350	650	650				650	2950	2710
3000	1850	2850	850	850				850	3630	3260
3500	2100	3300	950	950	200	200	200	950	5590	5134
4000	2500	3800	1150	1150				1150	6490	5829

※ H3500以上の規格は連結部が2ヶ所になりますので、上側の連結は、梯子等をご使用下さい。
※ 異なる高さの規格を連結することも可能です。(規格によっては段差が発生します)

基本構造

標準規格

特徴



ストックヤードブロックの特徴

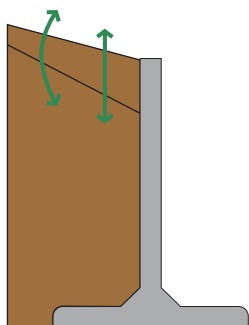
01 自立可能な安定形状

ストックヤードの用途から考えた対称系逆Tブロックは、日々変化する様々な積載状態において、最も安定な形状です。

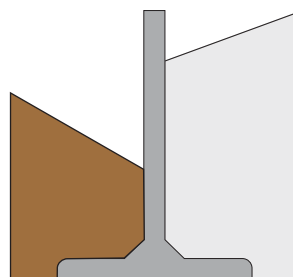
埋設不要で自立可能なため、製品を埋設するための工程(掘削・埋設・埋め戻し)が不要です。

- ・無積載時の安定な逆T形状で、表裏のどちら側に積載してもよい構造です。
- ・同条件で設計したL形ブロックの半分程度の地耐力に抑えることができます。
- ・災害時、がれき・ゴミの一時保管などにも使用できます。

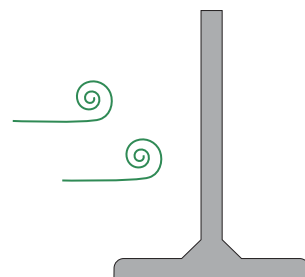
1. 積載高と背面勾配を変化させる安定計算を行っています。



2. どちら側に積載しても安全な構造となっています。



3. 無積載時の壁面に2kN/m²の風荷重を考慮しています。



標準規格は、 $\gamma=20\text{kN/m}^3$ 、 $\phi=35^\circ$ 程度の積載物を想定して形状決定しています。

積載高8割、9割、満載の時、それぞれ背面勾配が30°、25°、15°程度まで安定します。

積載物の単位体積質量と安息角をご指定頂ければ、都度設計も可能です。

2kN/m²、1kN/m²の風荷重は、それぞれ約35m/s、約25m/sの風速に相当します(参考:道路土工擁壁工指針)。

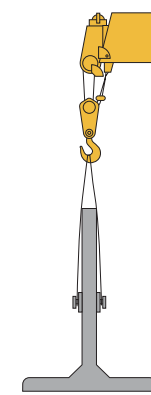


02 移動簡単、再設置可能

ストック量の変更や業務拡大に柔軟に対応するため、移動や組み替えが容易な形状です。

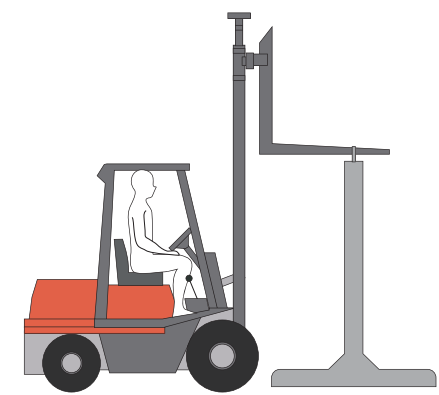
再設置が可能なため、現場打ち擁壁の場合に発生する撤去費用がかかりません。建設発生土の仮置き用としても使用でき、使用後はそのまま移動して再利用ができます。

1. 吊り孔で重心が取れるので、製品天端に上らなくても据付けや移動が可能です。



2. H2500以下はフォークリフトの移動が可能です。

- ・リフトのツメの高さ、長さ、能力等の規格は、選定してください。
- ・前方が確認しにくくなりますので注意が必要です。



金属・石・砂など種類を問わずご利用可能です。

吊り孔はゴム栓で塞ぐことができ、移動の際に吊り孔として再利用できます。

天端吊り金具は、オプション品として取付が可能でスチールもしくはステンレス製となります。

ヤードの保管許可は、 囲い・床・排水の3つで決まります

金属スクラップやプラスチックを屋外で保管する事業場（ヤード）は、県や市の条例で許可制となり、囲い・床の舗装・油水分離装置・保管の高さに基準が設けられています。2026年6月には廃棄物処理法の改正法が公布され、全国一律の許可制が導入されることになりました（2028年12月までに施行）。

条例が求める設備は3つに集約されます

囲い

保管の場所の周囲に囲いを設け、囲いの高さを超えて積み上げない。保管物の荷重がかかる囲いは、構造耐力上安全であることを書類・図面で示す。

当社製品：ストックヤードブロック

床

油や汚水が流出・地下浸透するおそれがある場合、底面をコンクリート等の不浸透性の材料で覆い、排水勾配を設ける。

舗装と排水勾配は、側溝の配置とあわせて計画します

排水

油水分離装置と、これに接続する排水溝を設ける。容量は流入する雨水等の量も勘案して定める（千葉県審査基準）。

当社製品：横断側溝・集水樹・油水分離槽アクシス

関東の条例の施行状況

自治体	施行	方式	床・排水（油水分離装置）
千葉県	2024年4月1日	許可制	油のおそれがある場合に必要
千葉市	2021年11月1日	許可制	汚水のおそれがある場合に必要
茨城県	2024年4月1日	許可制	排水を放流する場合に必要
埼玉県	2025年1月1日	許可制	必要（既存は2030年1月まで猶予）
群馬県	2026年10月1日	許可制	汚水・油のおそれがある場合に必要

国の改正法で示されている保管基準の項目（構造耐力上安全な囲い／保管物の高さ制限／油水分離装置・排水溝の設置／コンクリート敷設／火災対策）は、先行する千葉県・千葉市の条例とほぼ同じ構成です。今の県・市条例に沿って整備しておけば、国の法律への移行時に大きく作り直す可能性は低いと当社では見えています。

※2026年9月26日時点で当社が各自治体の公式資料を確認した内容の要約です。条例は改正されることがあります。最新の一覧（確認日付き）は当社サイト「ヤード条例の設備要件一覧」で更新しています。許可要件への適合の判断は、所管行政庁・行政書士等の専門家にご確認ください。

囲いの「構造耐力上の安全」を、 製品の安定計算で示せます

ヤード条例では、保管物の荷重がかかる囲いについて、構造耐力上安全であることを書類・図面で示すことが求められます。現場打ちの擁壁や、その場で組んだ囲いでは、案件ごとに構造の検討が必要になります。

ストックヤードブロックは、製品ごとに安定計算（転倒・滑動・地盤反力）と製品図を備えています。計画する高さと積載条件に合う規格を選べば、その根拠資料を申請の検討にそのまま使えます。

高さの選び方

条例の基準は「囲いの高さを超えて積み上げない」ことです。計画する積み上げ高さに余裕を見て、製品の高さを選びます。

規格（高さ H）	逆Tブロック 重量	コーナーブロック 重量	フォークリフトでの移動
H2000	2,350 kg	2,190 kg	可（天端吊り金具 オプション）
H2500	2,950 kg	2,710 kg	可（天端吊り金具 オプション）
H3000	3,630 kg	3,260 kg	－（クレーンで吊り孔を使用）
H3500	5,590 kg	5,134 kg	－（クレーンで吊り孔を使用）
H4000	6,490 kg	5,829 kg	－（クレーンで吊り孔を使用）

標準規格は、単位体積重量 $\gamma=20\text{kN/m}^3$ 、安息角 $\phi=35^\circ$ 程度の積載物を想定して形状を決定しています。無積載時の壁面には 2kN/m^2 （風速約 35m/s 相当）の風荷重を考慮しています。積載物の単位体積重量と安息角をご指定いただければ、条件に合わせた検討も可能です。寸法の詳細はP03の標準規格をご覧ください。

申請・設計の段階でご提供できる資料

- 製品図（逆Tブロック・コーナーブロック・連結部）
- 安定計算の適用基準と計算結果（転倒・滑動・地盤反力）
- 割付と数量（区画の配置図をもとに、逆T・コーナー・連結プレートの数量を算出）

撤去・再設置できる囲い

据付だけで完了し、撤去・再設置ができます。保管量の変更や区画の組み替えにそのまま対応でき、賃借地や期間の決まった保管区画、建設発生土の仮置きにも向いています。

供給範囲：千葉県内へ直接お届けします。県外はお問い合わせください。

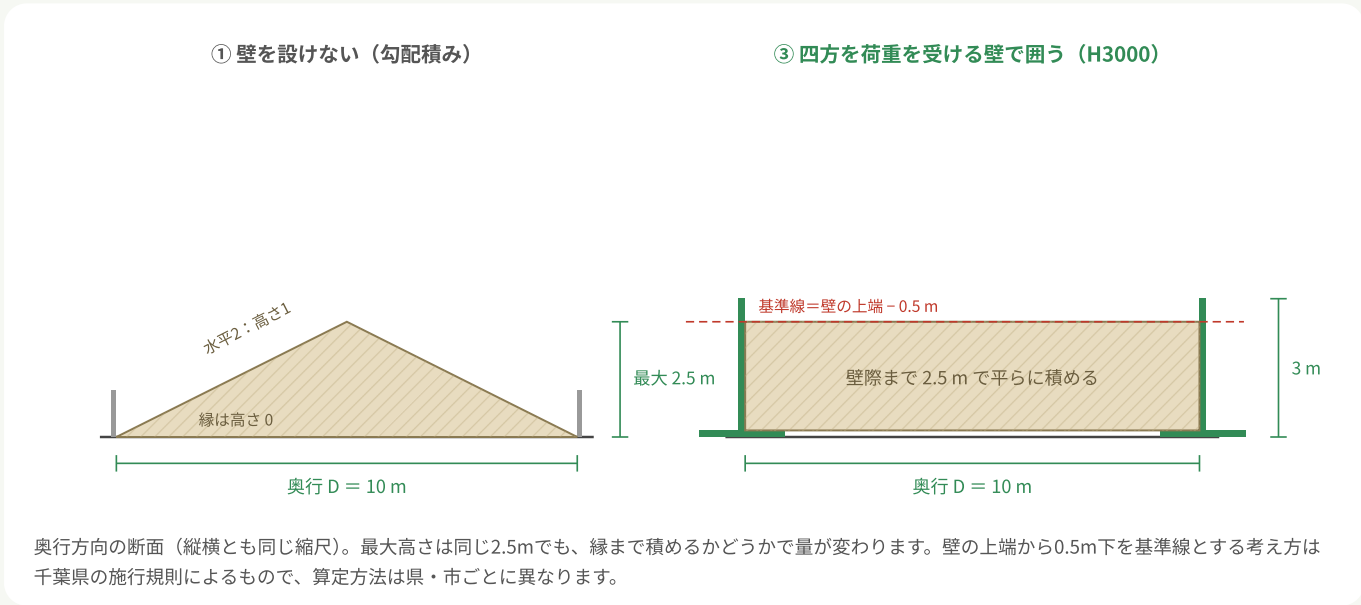
STORAGE CAPACITY | 保管量

壁にもたれさせて積めるだけで、 同じ区画の保管量が2倍以上になります

ヤード条例の多くは、保管物の積み上げ高さを「**囲いに荷重がかかるかどうか**」で分けています。壁を設けない区画や、荷重をかけない囲いでは、区画の境界から50%勾配（水平2：高さ1）の面までしか積みません。荷重を受けられる壁があれば、壁の上端から0.5m下の基準線まで、壁際で積みます。縁で高さがゼロになるかどうかの違いが、そのまま保管量の差になります。



例：間口20m×奥行10m（200㎡）、雑品スクラップ等の5m上限あり。②③の基準線は壁の上端-0.5m。計算の前提は右ページ下部。



計算の考え方

- ① 壁を設けない

区画の境界から水平2：高さ1の勾配で積む。頂点の高さは区画の短い辺の1/4（例：10mなら2.5m）。雑品スクラップ等では5mが上限。
- ② 三方を壁で囲う

開口側だけ勾配で下げる。上限は、開口側から施設・敷地境界までの距離の1/2と、基準線の低い方。
- ③ 四方を壁で囲う

基準線（壁の上端-0.5m）まで平らに積む。H3000なら2.5m、H4000なら3.5m。壁は荷重に対して構造耐力上安全であること。

BY YARD SIZE | 区画の広さ別

効果がいちばん大きいのは、 条例が求める「200㎡以下」の区画です

勾配積みは、区画が狭いほど縁の斜面が占める割合が大きくなります。保管の単位を200㎡以下に区切ると、壁を設けない場合は中央でも2～3mしか積みません。壁で囲う効果が最も出るのが、まさにこの大きさです。広い区画では、仕切り壁で200㎡ごとに分けたくえて、それぞれを四方囲いにする構成になります。

区画 間口×奥行	面積	① 壁を設けない		③ 四方囲い H3000		③ 四方囲い H4000	
		最大高さ	保管量	保管量	①との比	保管量	①との比
10m × 10m	100㎡	2.5 m	83 m³	250 m³	3.0倍	350 m³	4.2倍
10m × 20m	200㎡	2.5 m	208 m³	500 m³	2.4倍	700 m³	3.4倍
15m × 20m	300㎡	3.8 m	422 m³	750 m³	1.8倍	1,050 m³	2.5倍
20m × 20m	400㎡	5.0 m	667 m³	1,000 m³	1.5倍	1,400 m³	2.1倍
20m × 30m	600㎡	5.0 m	1,167 m³	1,500 m³	1.3倍	2,100 m³	1.8倍
30m × 30m	900㎡	5.0 m	2,167 m³	2,250 m³	1.0倍	3,150 m³	1.5倍

当社試算。①は5m上限（雑品スクラップ・千葉市・群馬県等）を適用。金属のみ・プラスチックのみ（千葉県）では①の最大高さが5mを超える区画があります。③の高さは基準線（H3000＝2.5m、H4000＝3.5m）。保管の単位（200㎡以下）と間隔（2m、千葉市の雑品は3m）は計算に含めていません。実際の上限は所管行政庁にご確認ください。

既存の許可ヤードが、囲いを替えるとき

- 「荷重をかけない囲い」から「荷重を受ける壁」へ
1. 区画と壁の案を作る

敷地の略図と保管物・積み上げ高さをもとに、壁の配置と規格を決めます（当社が割付案を作成します）。
2. 構造計算書を揃える

荷重を受ける壁として、製品の構造計算書をご提出します。雑品スクラップなど性状の異なる保管物は、条件を伺って個別に照査します。
3. 行政に相談する

事業場の構造の変更は、変更許可や事前協議の対象になることがあります。**工事の前に**所管行政庁へ確認してください。行政書士が関与している場合は、その方と窓口を統一します。
4. 据付

許可・届出の整理がついてから施工します。据付だけで完了するため、区画を止める期間は最短2日です（30m・H3000の場合）。



区画の寸法と壁の高さを入れると、その場で保管量を比べられます

壁を設けない場合・三方囲い・四方囲いの保管量、増加量と倍率、必要なブロックの概算本数、保管物ごとの重量の目安を表示します。結果はコピーしてそのままお問い合わせに添えられます。

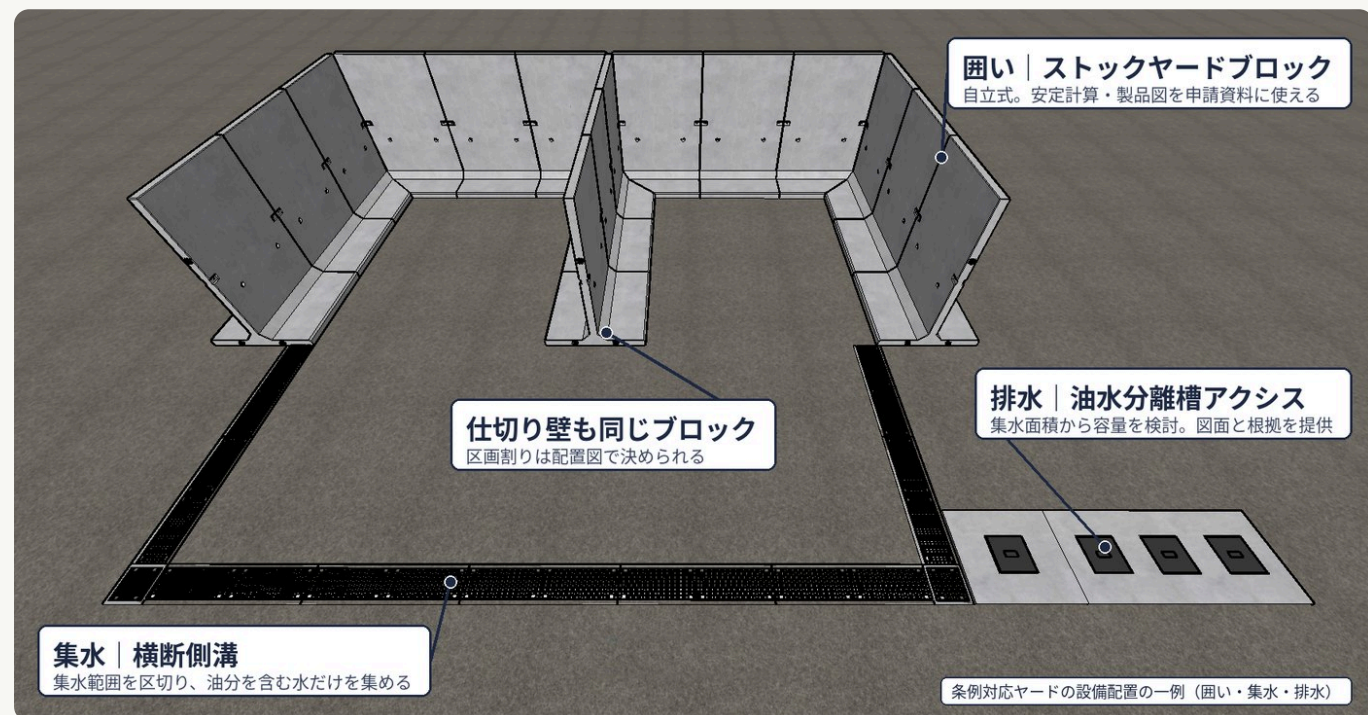
hana-ken.co.jp/pickup04/yard-volume/

※本ページは千葉県の算定方法を簡略化した当社の試算です。許可要件への適合の判断は所管行政庁の審査によります。当社は許可申請書類の作成・提出の代行は行っていません。

LAYOUT EXAMPLE | 配置例

囲い・集水・排水を 一体で配置する

条例の設備要件は「囲い」「床」「排水」に分かれて書かれていますが、現場では一体です。囲いの位置が決まると集水範囲が決まり、集水範囲が決まると油水分離槽の容量が決まります。



配置の一例。ストックヤードブロック（囲い・仕切り）、横断側溝（集水）、油水分離槽アクセス（排水）を一体で配置した構成です。実際の配置は、敷地形状・保管物・排水先によって変わります。

この順番を別々の業者で進めると、後の工程で前の工程をやり直すことになります。当社は囲い・集水・排水を同じ製品体系で製造しているため、**配置の検討段階からまとめてご相談いただけます。**

囲い・仕切り

スtockヤードブロック

土や埋戻しがなくても自重で自立するプレキャストの壁です。底版を平らな基礎に据え付けるだけで壁が立ち、逆Tブロックとコーナブロックの組み合わせで区画を作ります。仕切り壁も同じ製品で、T字・十字の仕切りにも対応します。

- 高さ 2,000～4,000mm（500mm刻み）
- 製品ごとの安定計算（転倒・滑動・地盤反力）と製品図あり

集水

横断側溝・集水桝

保管区画の外周を横断側溝で囲うと、油分を含む水が流れる範囲が図面上で明確になります。この集水面積が、油水分離槽の容量を決める根拠になります。側溝と桝は外寸500mmで揃えてあり、隅部も通りを乱さずに納まります。

排水

油水分離槽アクセス

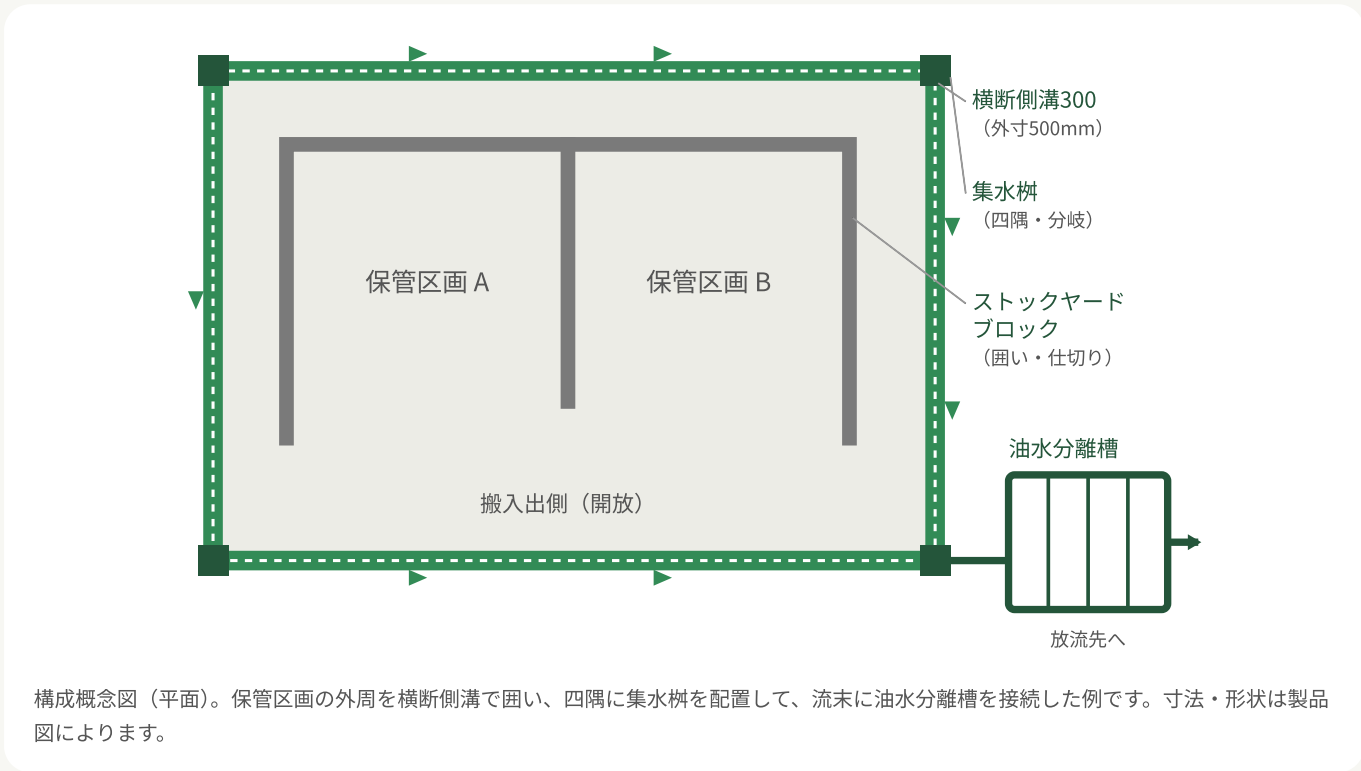
油と水の比重差で油分を浮上分離してから放流する、プレキャストコンクリート製の油水分離槽です。集水面積・雨水流入・放流先の条件から容量と槽構成を検討します。容量 約1m³（ACH）から 約40m³（AQ 田式4槽）まで、特注にも対応します。

この配置例で確認できること

- 集水範囲が図面上で明確になる。** 外周を横断側溝で囲うことで油分を含む水の範囲が区切られ、「なぜこの容量か」を審査で説明できる形になります。
- 囲いの構造根拠を製品の安定計算で示せる。** 案件ごとに構造の検討を起こす必要がありません。
- 部材どうしの納まりを製品図で確認できる。** ブロックの底版と側溝の取り合い、側溝と分離槽の流入位置を同じ製品図で整合できます。
- 清掃の動線を先に決められる。** 分離槽の点検口の位置と清掃車の寄り付きを、配置の段階で確保します。

区画を横断側溝で囲い、集水桧でまとめて油水分離槽へ

屋外のヤードでは、処理する水の大半が雨水です。舗装した面に降った雨がすべて排水溝に集まるため、油水分離槽の容量は、保管物から出る油の量ではなく、**集水面積と降雨条件から検討**します。



当社の横断側溝300と集水桧は、いずれも**外寸500mm**で揃えてあります。四隅と分岐に桧を置くだけで通りが乱れず、掘削幅と基礎碎石幅も統一できます。横断側溝を現場で切断することは想定していません。短尺品・斜め切りは工場製作で対応します。

ヤードで特に注意する3点

① 雨水が入る前提で考える

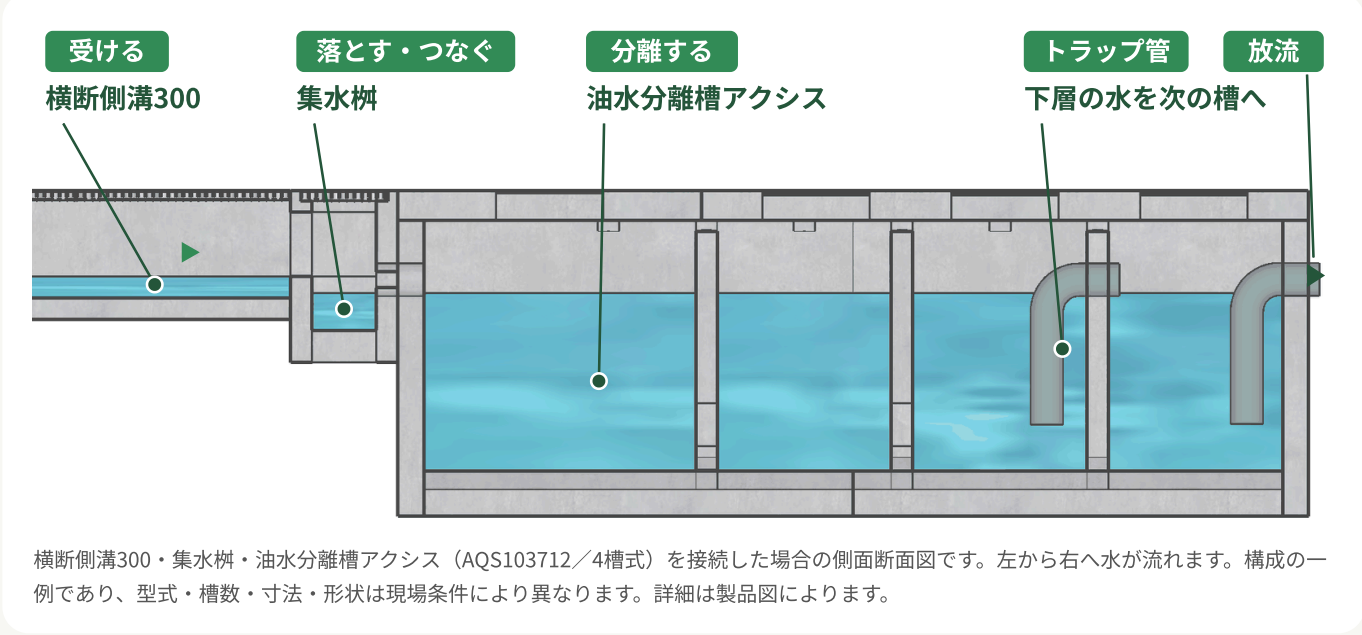
槽の容量だけを大きくしても、雨のたびに槽内の水が押し流されれば分離の役目を果たしません。集水範囲をどこまでにするか、流量をどう絞るか、系統を分けるかを、排水設備全体で考えます。

② カタログの容量表だけで選ばない

集水面積に対して小さすぎることがあります。ヤードの面積、舗装の範囲、降雨条件から必要な処理量を検討したうえで製品を選ぶ順番です。

③ 維持管理を計画に入れる

集水桧には土砂、分離槽には浮上油と沈殿物が溜まります。定期的な清掃を前提に、点検口の位置と清掃車の寄り付きを設計段階で決めておきます。



- 受ける** **横断側溝300** 区画を横断して面の水を受けます。呼び高さを3段階から選べるため、縦断勾配を製品側である程度吸収でき、調整コンクリートを減らせます。
- 区切る** **集水桧（内空300×300）** 入隅・出隅・分岐に使用します。外寸が横断側溝と一致するため、通りを乱さずに納まります。
- 落とす** **集水桧（底付き構造）** 側溝を流れてきた土砂は、分離槽に入る前にここに溜まります。清掃はこの桧から行います。
- つなぐ** **集水桧** 油水分離槽や既設管との接続に使用します。管底高さの調整もこの位置で行います。
- 分離する** **油水分離槽アクシス** 連槽を通過する間に流速を落とし、浮上油分と沈砂を捕捉します。型式選定と容量の検討は当社で行います。

規格

横断側溝300（製品長 L=2000）

呼び名	呼び高さH	総高さH'	重量
300A	356	500	630 kg
300B	456	600	730 kg
300C	556	700	830 kg

内幅300mm／外寸500mm。単位mm。重量は本体のみ。

集水桧

内空	外寸	総高さ
300×300	500×500	800

鉄筋コンクリート・底付き。天端は縞鋼板受枠、ボルト固定グレーチング。単位mm。桧の有効高さの関係から、組み合わせる横断側溝は300Cまでです。

油水分離槽アクシスの容量範囲

シリーズ	区分	容量	特長
ACH	小型	約1.0～1.3 m ³	即納。底版一体で基礎コンクリート不要
AQS	中型	1.6～6.7 m ³	短納期。2ユニット構成で施工を省力化
AQ	大型	3.8～約40 m ³	オーダーメイド。田式4槽・管径・開口位置の指定に対応

※本ページは製品の組み合わせ例を示すもので、放流水質を保証するものではありません。放流基準への適合は、排水の性状や現場条件に応じた別途の検討が必要です。荷重条件・設置条件・集水面積・降雨強度などの諸元は、個別にご相談ください。

CONSULTATION | ご相談の進め方

敷地の略図と条件をお送りいただければ、 製品配置と容量の案をお返しします

許可申請をされる事業者の方、申請を支援される行政書士の方、配置図を作成される設計者・施工会社の方からの
ご相談をお受けしています。容量や配置が決まっていない段階からご相談ください。



ご相談の前にお知らせいただきたいこと

分かる範囲で構いません。手書きの略図でも検討できます。

- 事業場の所在地（市町村）と、新設か既存の改修か
- 保管する品目と、想定する積み上げ高さ
- 敷地の形状・寸法と、区画割りの希望
- 舗装する面積と、排水の放流先（側溝・水路・浸透など）
- 行政から指導や期限を受けている場合はその内容、行政書士等への依頼の有無

許可申請・設計の段階でご提供できるもの

- 製品図（ストックヤードブロック・横断側溝・集水柵・油水分離槽）
- スtockヤードブロックの安定計算の適用基準と計算結果（転倒・滑動・地盤反力）
- 油水分離槽の容量検討の考え方と、案件条件に応じた検討結果
- 配置の検討（敷地図・保管物・排水先をもとに、製品配置の案を作成します）

※当社は製品の供給と、製品部分に関する資料の提出を行います。許可申請書類の作成・提出の代行は行っておりません。配置例・提供資料は当社製品を用いた場合の一例であり、条例への適合の判断は所管自治体の審査によります。

RELATED PAGES | 関連ページ

最新の情報はホームページで

条例の設備要件、製品の詳細、集水計画の考え方は、ホームページで随時更新しています。QRコードから各ページをご覧ください。

	ヤード条例の設備要件一覧 hana-ken.co.jp/pickup04/yard-jorei/ 関東の県・市条例と改正法の要点（確認日付きで更新）		ストックヤードブロック hana-ken.co.jp/pickup04/ 規格・施工手順・工法比較・施工事例
	油水分離槽の集水計画 hana-ken.co.jp/pickup01/drainage/ 横断側溝・集水柵との組み合わせ		油水分離槽アクシス hana-ken.co.jp/pickup01/ 容量選定規格一覧表・容量検討
	カタログ・図面ダウンロード hana-ken.co.jp/products/ CADデータ（JWW／DXF／PDF）		お問い合わせフォーム hana-ken.co.jp/contact_form/ 図面・写真を添えてご相談いただけます

CONTACT | お問い合わせ

花沢建材工業株式会社 千葉営業所

〒260-0013 千葉県千葉市中央区中央4-10-16 CI-22ビル
TEL 043-215-7310 / FAX 043-215-7311
メール chiba@hana-ken.co.jp / https://hana-ken.co.jp/

本社 〒289-1527 千葉県山武市松尾町大堤318
大平工場 〒289-1537 千葉県山武市松尾町借毛本郷715
製品の直接お届けは千葉県内が対象です。県外の案件はお問い合わせください。

ストックヤードブロック 製品カタログ 2026年10月版（ヤード条例・集水計画対応）。掲載内容は予告なく変更することがあります。